

岐阜県立大垣養老高等学校

学校長 田中 治

学校住所 養老郡養老町祖父江向野1418-4 電話 0584-32-3161

- 1 会議の名称 平成30年度 大垣養老高等学校 第2回学校評議員会
- 2 会議の構成
- | | | |
|--------|-------|-----------------|
| 委員 | 伊藤 勝代 | 海津市農業委員、海津市補導員 |
| | 西脇 正博 | 特別養護老人ホーム白鶴荘施設長 |
| | 馬淵 康夫 | 日本板硝子(株)垂井事業所長 |
| | 水野 成人 | 保護司、元泉地区長 |
| | 無藤 浩美 | 元本校PTA役員 |
| | | (委員名は五十音順) |
| オブザーバー | 林 新太郎 | 同窓会長 |
| | 大水 和弘 | PTA会長 |
| 学校側 | 田中 治 | 校長 |
| | 森田 英明 | 教頭 |
| | 谷 基 | 教頭 |
| | 古山 昌人 | 事務部長 |
| | 水野 泰孝 | 教諭(教務主任) |
| | 小野 卓也 | 教諭(生徒指導主事) |
| | 田中 賢 | 教諭(進路指導主事) |
| | 高橋 百合 | 教諭(総合学科主任) |
| | 箕浦 誠 | 教諭(農場長) |
| | 大西 賢二 | 教諭(寮務主任) |
- 3 会議の目的 大垣養老高校について地域を代表する方々から学校運営・改善のための意見をいただき、地域からの支援・協力のもと、地域に根ざし、特色と活力のある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成31年 1月24日(木) 9:00~11:00
岐阜県立大垣養老高等学校 会議室
委員4名、オブザーバー2名、学校側8名が出席
- 5 会議の概要
- 生徒発表 総合学科
商業クラブ 県高等学校生徒商業研究発表大会の発表内容
生活福祉系列 学習成果発表会の発表内容
農業科
農業研究部 J A農業教育支援事業指定研究の発表内容
生産科学科 } ポスター発表
環境園芸科 } (岐阜県域農林業教育システム研究発表会)
 - 学校関係者評価委員会(学校自己評価)

(1) 生徒発表の感想等

- 意見1 地域の魅力を高校生が発信するところに意味がある。フリーペーパーからインスタグラムに手法を変えたが、成果を期待している。
- 意見2 夏祭りなど施設のボランティアに協力いただき感謝している。家族の面会の少ない利用者もあり、生徒との交流を大変楽しみにしている。
- 意見3 飛騨牛も知名度が上がり需要も増えている。飼養に関わる学校が交流することにより学び合い、全国和牛能力共進会でよい成績をあげてほしい。

(2) 本校の教育活動への提言等

- 意見1 利用者との交流をいとわず、老人をいとおしいと思う気持ちを育てていただいている。人手不足となっている福祉施設で働く人材を今後も育ててほしい。
- 意見2 大垣市制100周年記念事業では、大垣市の湧き水を使った醤油の製造や式典会場の花飾りなど多くの場面で協力をしていただき感謝している。今後も、地域に根ざした活動を通し、地域に愛着をもち、地域に貢献できる人材育成に尽力いただきたい。
- 意見3 「全国高校生花いけバトル」の優勝(日本一)は日頃の学習の賜である。学校内外に大きな影響があったのではないか。
- 意見4 国立大学への進学は、学校の大きな魅力となる。ぜひとも、生徒の希望がかなうよう指導をお願いしたい。
- 意見5 キャリアガイダンスを充実させ、丁寧な面接を行うなど、今後も早期離職者を出さない体系的・系統的な進路指導をお願いしたい。
- 意見6 MSリーダーズと連携する事業があったが、縁の下の力持ちとしてよく手伝ってくれた。地域に根ざした活動を伝統とし、すばらしい校風を築きあげてほしい。
- 意見7 生徒会とPTAの接点が少ないので、体育祭以外にも何らかの機会を設けていただけるとありがたい。

6 会議のまとめ

西濃地域に唯一の農業科と総合学科を併置する学校として、どのような人材育成が求められているのか、貴重なご意見をいただくことができた。

地域に学び、地域の課題解決に向けた実践的な学習を推し進めることにより、ふるさとに愛着と誇りをもち、人間性豊かで自立と共生をもって地域に生きる有為な人材を育成していきたい。